

子安地藏寺

子安地藏寺という丘の頂上に建てられた小さな建物は、樹齢 100 年の藤が敷地のあちこちで蔓を伸ばし、5 月初旬には紫色の花を咲かせる「花の寺」として知られています。境内では他のさまざまな花も育てられており、1 年のうちの 11 か月は花が楽しめるようになっています。

本堂には伝統的に子どもの守護神とされる地藏が祀られています。子安地藏寺はかつて荒廃していました。しかし、江戸時代（1603-1868）、紀州藩主は実子の安産祈願が成就したことから境内を再興しました。それ以来、子安地藏寺には安産や子宝に恵まれることを祈願する参拝者が訪れるようになりました。

境内には赤い帽子と前掛けを着せられた数多くの地藏があります。参拝者はしばしば、飲みものや小さな玩具、ぬいぐるみ、飴、千羽鶴などをこの子どもたちの守り神にお供えしていきます。

子安地藏寺は御幸辻駅から徒歩 30 分のところにあり、拝観料は 300 円です。